

2025年3月31日
イオンフィナンシャルサービス株式会社

フィッシングサイトを閉鎖する取り組みへの参画について ～国内カード会社8社共同で取り組みます～

イオンフィナンシャルサービス株式会社（代表取締役会長兼社長：白川俊介、以下、当社）は、2025年4月より、日本クレジットカード協会（以下、JCCA）が主導する、国内カード会社8社共同でフィッシングサイトを閉鎖する取り組みへ参画いたします。

クレジットカードの不正利用被害額は、2024年には被害額ベースで過去最悪を記録しており、そのうち約92.5%が番号盗用による不正利用となっています。（※1）その背景には、実在の企業やサービスを騙って偽メールやSMSで偽サイトへ誘導し、クレジットカード番号やパスワードなどの情報を詐取する「フィッシング」（※2）の増加があります。

当社ではイオンカードを騙ったフィッシングサイトを閉鎖する取り組みを行っておりますが、フィッシングの手口は日々巧妙化しており、ECショッピングサイトや公共インフラ・サービスなど、当社サービス名以外のフィッシングサイトにクレジットカード番号等を入力させる事例も報告されております。

2024年6月には「国民を詐欺から守るための総合対策」が犯罪対策閣僚会議で決定され、クレジットカードの不正利用被害防止に向けて、業界横断での取り組みが進んでいます。このたび、フィッシングサイトの検知・閉鎖に豊富な実績を有する株式会社 ACSiON のノウハウを活用しながら、当社を含む国内カード会社8社並びにJCCAが共同でフィッシングサイトの検知・閉鎖に取り組むことで、不正利用被害の抑制を図り、お客さまに安心してカードをご利用いただけるよう取り組んでまいります。

【取り組み概要】

国内カード会社8社がフィッシングサイトを閉鎖する取り組みを共同で開始

<https://www.jcca-office.gr.jp/info/1378/>

また、当社ではお客さまに安心してご利用いただくために、本人認証サービス（3Dセキュア）の導入や24時間365日の異常検知モニタリングなど最新のセキュリティ体制を構築しています。加えて、当社から配信するイオンマークのカードに関するメールへのお客さま氏名の記載や、カードご利用時、過去の不正利用パターンと類似したご利用分や第三者利用の可能性がある場合にはお取引を一時的に制限させていただき取り組みを実施しております。

今後も継続的なセキュリティ強化に努めるとともに、被害防止や犯罪撲滅に向けて警察当局や業界団体などと連携を深めてまいります。

【イオンカードのセキュリティ対策】

お客さまにより安全にイオンカードをご利用いただけるよう「安心・安全な機能」や「もしもの時のサービス」を提供しております。詳細は、暮らしのマナーサイトセキュリティ関連ページをご参照ください。

<https://www.aeon.co.jp/security/>

※1 一般社団法人日本クレジット協会による公表計数に基づく

※2 フィッシングとは、クレジットカード会社などを詐称した電子メールを送りつける、偽の電子メールから偽のホームページに接続させる等の方法で、クレジットカード番号、アカウント情報（ユーザーID、パスワード）、住所、氏名等の個人情報を詐取する行為のこと

以 上